

令和4年第3回産業建設常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年4月13日（水曜日）		開会	9:55		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	11:13					
委員の出欠		3 番	田村 秀男	出席	4 番	小椋 哲也	出席	8 番	松壽 孝雄	出席
		12 番	松原 政勝	出席	13 番	中村 忠士	出席			
出席説明員	産業振興部	産業振興部長		産業振興部次長		農政課長		商工観光課長		
		門脇 芳則	出席	佐々木栄典	出席	小野 武史	出席	田畑 直樹	出席	
		水産みどり課長		農政課主幹		商工観光課主幹		商工観光課主査		
		田村 康行	出席	上田 健一	出席	岩口 裕昭	出席	武田 妙子	出席	
		農政課主査		農政課主査		水産みどり課主査		水産みどり課主査		
		武田 文吉	出席	西郷 博之	出席	古里 達也	出席	岩光 信幸	出席	
	建設水道部	建設水道部長		管理課長		事業課長		建築住宅課長		
		伊藤 一成	出席	松田 勝広	出席	外石 昭博	出席	川畑 智明	出席	
		上下水道課長		上下水道課技術長		管理課主幹		建築住宅課技術主幹		
		谷村 将志	出席	袴田 充輝	出席	前道 陽司	出席	山岸 英一	欠席	
		建築住宅課主幹		事業課主幹		事業課主幹		上下水道課主幹		
		篠田 敬介	出席	廣島 静治	出席	佐竹 和仁	出席	福原 仁史	出席	
		管理課主査		建築住宅課主査		事業課主査		上下水道課主査		
		木村 洋平	出席	大西 廣和	出席	板垣 正博	出席	植松 拓也	出席	
	農業委員会	農業委員会事務局長		農業委員会主幹		農業委員会主査				
		内山 宏	出席	たも木 直人	出席	山下 真弘	出席			
委員外の出席		議長	西原 浩					合計	1名	
事務局職員		局長	干場 富夫	主幹		入田 浩明		合計	2名	
傍聴者数		議員	0名	報道関係者		0名		合計	0名	

令和4年第3回産業建設常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 8番 松壽	9:55 開会
	出席委員5名、委員外0名、会期1日
委員長 8番 松壽	挨拶
	【農業委員会所管事務調査】
農業委員会事務局長 内山	挨拶及び職員紹介
	その他 農業委員の改選について ・第24期農業委員の任期が令和5年7月19日に満了となることから、今年度から改選に向け準備を進めていく。 - 予定としては、12月までに募集にかかる周知準備を行い、来年の1月 から周知作業に入り、4月から1か月間ほど募集を行いその後、5月に農業委員候補者の評価委員会を開催して、6月の議会提案という流れで進めて行く予定となっている。 - 詳細については、12月の常任委員会で説明する。
委員長 8番 松壽	・質疑あるか。
委員 一同	・質疑なし
委員長 8番 松壽	農業委員会 9:58 終了 休憩
委員長 8番 松壽	10:01再開 委員長挨拶
	【建設水道部所管事務調査】
建設水道部長 伊藤	挨拶及び概要説明
委員長 8番 松壽	(3)第7次別海町総合計画第4次実施計画について
管理課長 松田	・資料により説明
建築住宅課長 川畑	・資料により説明
事業課長 外石	・資料により説明
上下水道課長 谷村	・資料により説明
委員長 8番 松壽	質疑
委員 一同	・質疑なし
委員長 8番 松壽	その他
管理課長 松田	(2)除雪費について ・令和3年度除雪業務委託料の専決による補正を行った。 3月に入り、6日から7日にかけての暴風雪及び15日から16日にかけての降雪等により約1,600万円程度の委託料がかかり、3月16日現在で、残額が約1,100万円程度となった。 - その後、3月19日から20日にかけて、暴風雪による悪天候が予想されたことから、予算不足が生じる可能性が出たため、財政課等と協議し3月17日付で、2,100万円を増額補正することとした。 - 補正によって、暴風雪に伴う除雪作業も全車出動し、作業を終えることが出来た。
委員長 8番 松壽	建設水道部 10:23 終了 休憩
委員長 8番 松壽	10:27再開 委員長挨拶
	【産業振興部所管事務調査】
産業振興部長 門脇	挨拶及び職員紹介、概要説明
委員長 8番 松壽	議事1 所管事務調査について
	(1)新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済対策について ・中小企業等経営持続化補助金、プレミアム付商品券事業について資料により説明
商工観光課主査 武田	

令和4年第3回産業建設常任委員会 要点記録

		プレミアム商品券実績 事業費 1億7,250万円、換金額 1億7,243万4,000円、換金率 99.96% 飲食応援券 事業費 2,880万円、換金額 2,847万5,000円、換金率 98.87% 月別、地域別の利用状況については一覧表のとおり。
商工観光課主幹	岩口	・べつかい宿泊割について資料により説明
		利用実績 延べ宿泊数 1,067泊、金額 418万7,000円、執行率 クーポン実績 配布数 4,268枚、換金枚数 4,063枚、換金額 203万1,500円
委員長	8番 松壽	質疑
委員	一同	・質疑なし
委員長	8番 松壽	(2)別海町酪農・肉用牛生産近代化計画について
農政課主幹	上田	・資料により説明 計画については、北海道、各農協と内容について協議済み。 本年3月20日開催の別海町酪農振興対策協議会で承認を受け決定した。
委員長	8番 松壽	質疑
委員	13番 中村	・12Pの飼養農家戸数が671戸で目標値が624戸とでているが、これを下回らないようにしようとしている数字なのか。
農政課主幹	上田	・農家は減少傾向にあるが、各農協ごとに目標とすべき農家戸数の設定をしており、それを聞き取り調査した上で町の目標というふうに設定している。
委員	13番 中村	・各農協から目標値を聞き取りしたということだが、農協別に目標値は公表できるか。
農政課主幹	上田	・各農協に確認しなければお答えできない。
委員	13番 中村	・全体的に飼養頭数・生産量は増やす計画になっている。 昨今の状況の中で、生乳が余っている現状もあるが、そういうものはどう改善していく視点も含んでいるのか。
農政課長	小野	・目標数量を定めるに当たっては、通常の道の計画値あるいは各農協から上がってきた計画値にそのままパーセンテージをかけてしまうと、どうしても生産量が高くなってしまいますので補正をしながら調整している。 今後、生乳生産量についても、こういった状況になるのかっていうところはまだ不透明ところもあるので、そういったところについては今後注視する必要があるかと考えている。
委員	13番 中村	・基本的に拡大していく路線だが、このままの酪農の形でいいのかというような視点は計画の中に入っているのか。
農政課長	小野	・この計画そのものは、やはり各農協の目標の整合性というものをしっかり図らなければならないという観点から、確かに増産計画ということになっている。 今後、各農協との関係機関と協議をしながら、このまま拡大路線に行くのか、あるいはこういった形にしていけるのかっていうところは、毎年度しっかりと協議をしながら決めていきたいと考えている。
産業振興部長	門脇	・この酪肉近ですが、2年毎ぐらいでまず国の部分が出来て、その時に740万トンぐらいの生産を780万トンにするという目標で、クラスター事業とかいろんな事業がかかわってきて、それで去年の急にその生乳余りという状況ができたものですから、そことの整合性っていうふうに委員からおっしゃられるとちょっと辛いところがあるが、今農政課長が申し上げたとおり、町としてもどうしても増産基調になるし、現在、町も50万トン超えているので、伸びというのはあると思うが、拡大ベースで作っている計画ということで、町としてはその辺を少し抑えぎみということにしているので、この酪肉近というのは、草地改良とかそういう事業で

令和4年第3回産業建設常任委員会 要点記録

		も使う指標でもあるので、余り国とか道の計画と極端に乖離する計画っていうのも難しいかなというふうには考えているので、その辺ちよつと御理解いただければなと。 ・40頭増やして生産量を6万トン増やすということだが、1頭当たりの乳量はいくらか。 ・1頭当たりの乳量は、9ページの酪農経営方式の指標に経産牛1頭当たりの乳量ということで、設定させていただいている。 こちらが普及センターと相談しながら、北海道の乳量と別海町実際の乳量と、そういったものを勘案しながら設定した数字となっている。 ・何トンなのか。 ・9ページの、左から言いますと7ます目。 ・1番上の生産性指標というところ、1番左側になる。 ・7,600から9,200というその幅があると。 そうすると、計画では40頭増やすんですね。 8ページの乳用種等ありますよね。 そこで乳用種が何頭か出てますよね。 そこで計算すると、そこは40頭増やすといつかね、そういうようなことになっているけども。 ・現在の値が、平成30年度の欄に記入しているが、これは要領で決まっており、目標は令和12年度となっている。 増やす頭数は、経産牛の頭数の欄で言うと、約4,040頭ぐらい増える計算になっている。 ・田村議員が御覧になっているのは肉養牛の部分ですね。 ・そうすると、4,000頭増えるんですか。 ・目標としては4,000頭弱増えるという目標にしている。 こちらは、北海道の増加率を加味して、普及センターと別海町の現状を協議しながら、これぐらいの増加率が目指すところじゃないかというところで設定したものとなっている。 ・15Pの集送乳の合理化で、そういう体制の整備を図りますとなっているが、具体的にはどういうことに取り組む計画なのか。 ・ミルクローリーの導入というか整備と集乳路線の整備を図っていきたいというような意味となっている。 ・防衛の方でミルクローリーの更新ができると思うが、それ以外にも町全体として行っていくという考え方なのか。 ・基本的にミルクローリーの更新等に関しては、確かに道東あさひさんの防衛等の更新がある。 また、過去には中春別農協さんのミルクローリーの更新に対して、町からの補助という形もとっている。 現状、計画は道東あさひさんのミルクローリーの更新となる。 また、今後そういったことの中で合理化を図るということなので、その辺は各農協と確認をとりながら、必ずしも町が全てやるということではないので、農協等も行うことも含めて、合理化を図るという形の計画なっているので、その辺は御理解いただければと思う。 ・他に質疑あるか。 ・質疑なし (3)第7次別海町総合計画第4次実施計画について ・資料により説明 ・資料により説明 ・資料により説明
委員	3番	田村
農政課主幹		上田
委員	3番	田村
農政課主幹		上田
委員	3番	田村
農政課主幹		上田
産業振興部長		門脇
委員	3番	田村
農政課主幹		上田
議長		西原
農政課主幹		上田
議長		西原
農政課長		小野
委員長	8番	松壽
委員		一同
委員長	8番	松壽
農政課長		小野
商工観光課長		田畑
水産みどり課長		田村
委員長	8番	松壽

質疑

令和4年第3回産業建設常任委員会 要点記録

委員長	12番	松原	・エゾシカ被害対策事業について、走古丹地区も尾岱沼地区も囲い罠の数は同じということを受けとめていいか。 ・囲い罠については同じ数を予定している。 ・今年の3月31日で捕獲は終了したと思うが、最終的に何頭捕獲できたのか。 ・春駆除 1,308頭、秋駆除 1,195頭、囲い罠（野付半島・走古丹）818頭。 ・例年から比較してどうなのか。 ・囲い罠については同じ数。 令和2年度 715頭、令和3年度 818頭ということで、前年に対して115%増加している。 ・4基あるが、輸送できないから入り口を閉じてしまうのか。 運べる範囲しか捕獲しないのか。 この辺については検討する必要があると思うが。 ・走古丹の2基については、町で実施しているのも。 もう2基は知床ファームで実施しているもの。 扉が閉まっているということだが、斜里から引き取りに来る日程等もあり、扉をとじているということになるが、業者が遠方なので閉じているという状況。 今後、業者と協議していきたい。 ・他に質疑あるか。 ・質疑なし
水産みどり課長		田村	
委員長	12番	松原	
産業振興部次長		佐々木	
委員長	12番	松原	
水産みどり課主査		古里	
委員長	12番	松原	
水産みどり課主査		古里	
委員長	8番	松壽	
委員		一同	
委員長	8番	松壽	
委員長	8番	松壽	

閉会挨拶

11:13 閉会